

第3回社会的諸問題検討委員会議事録

日時; 2005.11.29

場所; 京都私学会館

出席者; 織井優佳、佐藤恵子、増井徹、丸山英二、玉腰暁子

議事内容

【情報開示について】

現在の計画書で「開示しない」としているが、その適否について、検討した。

- ・開示しないことを条件に同意を得ることについては、測定項目の意義が不確定な状況である、また医療ではなく研究である、さらにゲノム指針でも認められる表現となっていることから、問題ないと考える。
- ・中央事務局にある資料・試料については、個人情報保護のため対応表を保管せず指針上連結不可能匿名化状態にしているため、開示請求に応じないとする。
- ・各サイトにある資料・試料については、開示しないことを原則として同意を得ていても開示請求が出た場合には、法・指針に則って対応する。
- ・以上を12月1日の運営委員会で提案することとした。

【モニタリングについて】

モニタリング結果の報告は、当該サイト責任者(できる限り早い時点で)、研究モニタリング委員会・外部評価委員会(早めに)、主任研究者・他サイト(数箇所実施後に可能な限り匿名化して)に対して行うことを確認した。

【中央事務局との関係について】

社会的諸問題委員会にとって独立性の確保は重要なので、当面、中央事務局と連絡は取りつつも参加を求めず進め、様子を見ることとした。会議の開催やモニタリング、調査などにかかる費用については、来年度、可能であれば玉腰(支援班分担研究者)に配分するよう求める。